

学校図書館支援センター通信 NO.103 9月号

平成28年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

IASL 東京大会～ようこそ市川市へ～



第七中学校の実践発表の様子

第七中学校の視察では、「全校で取り組む学校図書館活用」について、今まで取り組んできた研究の成果を見ていただきました。中学生の皆さんの爽やかな挨拶の出迎え、手作りのメダルのお土産など、きめ細かな心づかいに視察された方々は感動されていました。

生涯学習センターでは、市川市が目指している「生きる力・夢や希望を育む市川市の学校図書館」に近づくために、学校図書館、公共図書館、行政が一つの組織として取り組んでいることについてご理解いただきました。

8月22日から26日まで東京・明治大学において、「2016国際学校図書館協会東京大会」が開催されました。24日には、第七中学校と生涯学習センターに43名の方が視察に来られました。その中には、アメリカ、シンガポール、ジャマイカ、南アフリカ、オーストラリア、カザフスタン、中国、フィリピンなど世界の様々な国から17名の方もいらっしゃいました。国境を越え、学校図書館について学びを深める時間となりました。



折り紙のメダル



市川市の取組について紹介



ご協力ありがとうございました！

今回の視察のために4月のお忙しい時期から、司書教諭、学校司書の方々には、学校図書館活用ポスターを作成していただきました。このポスターは、各学校の学校図書館の取組、幼稚園の図書を活用した取組がコンパクトにまとめられたものです。英訳については、外国語指導員やALTにご協力いただきました。



8月2日の学校図書館研修会ネットワーク会議2で、折り紙で飾りを付けて、掲示物(上の写真)を仕上げました。このポスターは、視察に来られた方々に大好評でした。英訳付きのため、海外の方も熱心に読まれていました。

大畑忠教育基金活用について

基金の名称である大畑忠先生は、信篤小学校初代校長です。そのお孫さんにあたる大畑一枝先生の「生活が徹しい方の教育基金としてほしい」という趣旨の遺言に基づき、寄附を受けることになりました。当初は、就学が困難な方の奨学資金制度に活用されていましたが、平成23年度からは学校の教材教具に活用されております。今年度から5年間は、小学校の図書に活用されます。小学校の学校図書館には、基金を活用した図書を紹介する「大畑忠教育基金コーナー」を設置するとともに、大畑忠先生及び一枝先生について、子供たちに紹介していただければと思います。



図書館の窓から

～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

妙典小学校では、年2回の読書週間を設けています。梅雨時に多くなる教室での生活を考え、1回目は6月に行います。毎回人気の「読書通帳」は、本を借りる際にスタンプを集め、5個でしおり、10個でくじが引けます。くじ引きには、「大当たり」「当たり」「はずれ」があるので、業間休みの図書室には歓声が上がります。「大当たり」は、館内扱いの本を貸し出します。今回初めて朝読書の時間を使って学年内の「担任交換読み聞かせ」を行いました。緊張感とサプライズとで子供たちにも先生方にも好評でした。秋には、きょうだい学級間で読み聞かせを行いたいと思っています。

(市川市立妙典小学校 学校司書 平野 晴美)



「子供たちに大人気のくじ」

中央図書館・こどもとしゃかんの施設案内

中央図書館では、利用者がいる日常の図書館の様子や施設の工夫についての説明を聞いていただきました。こどもとしゃかんでは、学校図書館との連携や具体的なかわりをご理解いただきました。

視察に来られた方々



利用者との触れ合い（こどもとしゃかん）



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

